

活動報告・情報交換 など

出席メンバーの勉強や活動を含む、近況報告をしてもらいました

- ・ **10月の勉強会** 10月の勉強会は10/10(土)にカウンセリング実習(リモート)を、10/27(火)に「閃く練習」のワークを行います！
- ・ **勉強会アンケート** 木村さんからのメール[nck:901]にあったように、勉強会のアンケートがまとまりました。感染防止対策をしっかりと行えば対面式に戻してもいいというご意見も多く、11月2回目は対面式で検討中です！
- ・ **Run伴のイベント** 木村さんも参加している「RUN伴(ランとも)」(地域住民と認知症の方や家族、医療福祉関係者がタスキをつなぐイベントです)のオンラインイベントがあります (<https://www.facebook.com/events/646542899590695/>)。後半のグループ交流のファシリテーターをしてくださる方を募集中！いい経験になると思いますよ。希望者は木村さんまでご連絡を！
- ・ **その他、情報交換や近況など**

SmileとRingで笑顔の輪をつなげよう
GUEST 丹野智文さん



17年実習経験者。自動車商売でトップセールスマンとして活躍していた時期の間に、数冊のブログや一冊の書籍と書籍、1冊の書籍の執筆経験。日本橋カウンセリング研究会 副会長(日本橋研究会メンバーグループ)を担い、21年からの、認知症の人や、不安を持つ高齢者の悩みを扱う「おれんじが子」を協会の場で発行。著書に「行動療法、実践で生きる-認知症と向き合う-」(文芸春秋)。

●申込方法、メールでお申し込みください。
 ●申込金額、途中で変更を認めた場合はお断りさせていただきます。
 ●講師-副講師は認知症本人・家族の方など色々な形で参加いただけます。
 ●アンケートを使った認知症セミナーによる開催です。
 ●本イベントは繋がること1つの目的としており、セッションではグループに分けて体験を体験します。
 ●本イベントでは言葉・感情の体験をいたします。その体験は認知症講座・江戸川川のOGや認知症関係者に使用し、また他団体から依頼があった場合には複製をさせていただきます。複製される方はご連絡ください。
 ●参加申し込みの締め、開催前までにご案内メールが届きます。
 ◎当日参加費減額 ◎安心の代表者氏名・参加人数
 ◎参加時に使うパソコン等の用意 各参加の上お申込みください。

お問い合わせ runbataki2017@gmail.com runbataki2017@gmail.com

参加環境
 ●パソコン、タブレット、スマートフォンをご用意ください。
 ●Wi-Fi、マイクが利用できる環境をご用意ください。
 ●※ 1日限りがない場合、参加費のインターネット接続料によって別途参加費がかかる場合がありますので、ご注意ください。

LINE QRコード  

※ この内容は会員の個人的な活動を含むためHP掲載版では割愛させていただきます。

今後の予定

次回以降の予定です。ぜひご参加を !!

※ 通常、毎月第2木曜・第4火曜日が基本ですが、リモート開催に伴い、日程を変更する場合があります。(基本のスケジュールはHPに載せてますが、また変更あるかも? → <http://www.nihonbashi-counseling.org/>)

NCKホームページのQRコードです →



10月10日(土) 15:00~17:00 テーマ: カウンセリング実習
(1時間半以上の参加でポイント申請します) 場所: リモート開催 (Zoom 使用)

10月27日(火) 20:00~22:00 テーマ: テーマ: 「閃く練習」のワーク
(1時間半以上の参加でポイント申請します) 場所: リモート開催 (Zoom 使用)

11月12日(木) 20:00~22:00 テーマ: カウンセリング実習
(1時間半以上の参加でポイント申請します) 場所: リモート開催 (Zoom 使用)

※ 申し訳ありませんが、リモート開催での勉強会はNCK会員のみで実施させて頂いております。ビジターでのご参加は対面での勉強会が実施できるようになるまでお待ち頂きますと幸いです。

NCKへのお問い合わせは→ <http://www.nihonbashi-counseling.org/%E3%81%8A%E5%95%8F%E5%90%88%E3%82%8F%E3%81%9B/>

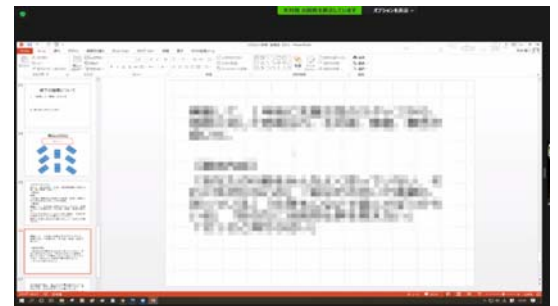
今回は、2月に検討していたコロナで延期となったハラスメント研修の再検討や、そこで取り上げる事例についての検討を行いました。

まずは、検討していたハラスメント研修のおさらいをして意見を出してみました。こんな意見がありました。

- ・ 講義部分を短くしてワーク的な部分を増やしたい。
- ・ 前回検討していたワークは、寸劇を見てもらい、その悪いところを話し合ってもらおうワーク。これは難しいかな？
- ・ 従来の寸劇をやるのは、ちょっと難しいかも？
→ 録画しておくのはどう？
→ でも、いまの状況だと録画するのも大変かも？
- ・ 事例を多めに用意して、グループで話し合ってもらおうというワークはどう？
→ まったく知識がない人は、もしかしたらつまらないかも？
- ・ 講義部分は動画コンテンツとして作っておく？
その後のワークに力を入れよう。
- ・ そもそも、グループワークができるのかな？ 人数とか席の配置とか制約があるかも？そこは確認しておこう。



今回は6名参加でした



事例について検討しています

研修のやり方については未確定な部分はありますが、いずれにしても事例集め・事例作りは必要です。今回も事例を出して話し合ってみました。こんな事例が出ました。

(事例) お昼休みに仕事をしていると、専従の人に怒られた…。という話を聞いて「それってハラスメントじゃない?」と思った。「残業は絶対するな」と言われやりづらいそう(ジタハラ?)。でも、その当人はハラスメントされたと感じていなかった。

(意見)

- ・ 話を聞くと、これってハラスメントなんじゃないかなとは思。ただ、実際にどういう状況なのかが分からないと判断しにくいなあ…。
- ・ 研修での事例紹介では「背景」「手がかり」を付けるようにしないと、判断できないかも？
- ・ 「これだけじゃわかんないよね…」と思われてしまうと、そこで話し合いが終わっちゃうと思う。

(事例) 異動先の先輩からの無視・暴言。「あなたには仕事を教えない」と言われた。上司に相談すると、逆に上司から注意された。でも、その後、急に先輩が謝ってきた。(知らないところで上司が言った?)

(意見)

- ・ 本来ならば、先輩に注意するのなら、本人(被害者)の了承が必要。これって先輩の仕返しに怖いかも？
- ・ この上司が、先輩側の話をどう聞いたのかが気になる。
- ・ 上司は話が大きくなるのが怖くなって、態度を変えたのかな？
- ・ 本人(被害者)がどういう人なのか?という視点も必要。
- ・ 「必ず両者の話を聴く」「被害者の話を聴くときに肩入れをしない」といった注意点を伝える題材としていいかも？
- ・ (管理者として) 相談を受けたときのマニュアルを作るというワークにするのもいいのでは？

さらに、参考にyoutube上のセミナーを視聴しました(こちらのセミナーです→ <https://www.youtube.com/watch?v=nrk8Lb8DKig&t=516s>)。「職場におけるハラスメント関係指針」(https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/pdf/symposium_siryu_2.pdf)について説明したものです。こんな意見が出ました。

- ・ 社長さん向けの内容で今回の対象者とは少し違うかな?でも短めにまとめられているのはいい。
- ・ 少し内容を絞ってワークの前段に見せるのはいいかも?
- ・ 「3つの要素をすべて満たすもの」のところは、前提として伝えておくのがいいと思う。
- ・ うちにきた講師の先生が「各会社でパワハラ基準は違うので、過去の事象を聞いてから研修の内容を決める」と言っていた。今回の研修も少し背景など確認した方がいいかも?
- ・ たとえば「相談の受け方」を中心にするとか、「パワハラの境界線」を中心にする、「組織づくり」を中心にするとか…先方のニーズが確認できるといいかも?

個人的には、その場での台詞のやりとりを見せる寸劇よりも、背景を含めたストーリー仕立ての事例を用意して考えてもらう方がいいような気がしてきました。先方のニーズも把握しつつ、今後も検討していきましょう!

編集後記

会報作成担当のコメント・つぶやき… などなど

情報交換のところで紹介した「Run伴」のイベントですが、かなり大人数のイベントになるらしいです。そういう場に参加したり、ファシリテーションのお手伝いをするのって、いい経験になるんじゃないかと思えます。前半のトークセッションも面白そうなので、ご都合がつく方はぜひ木村さんへご連絡を! 【水口】

